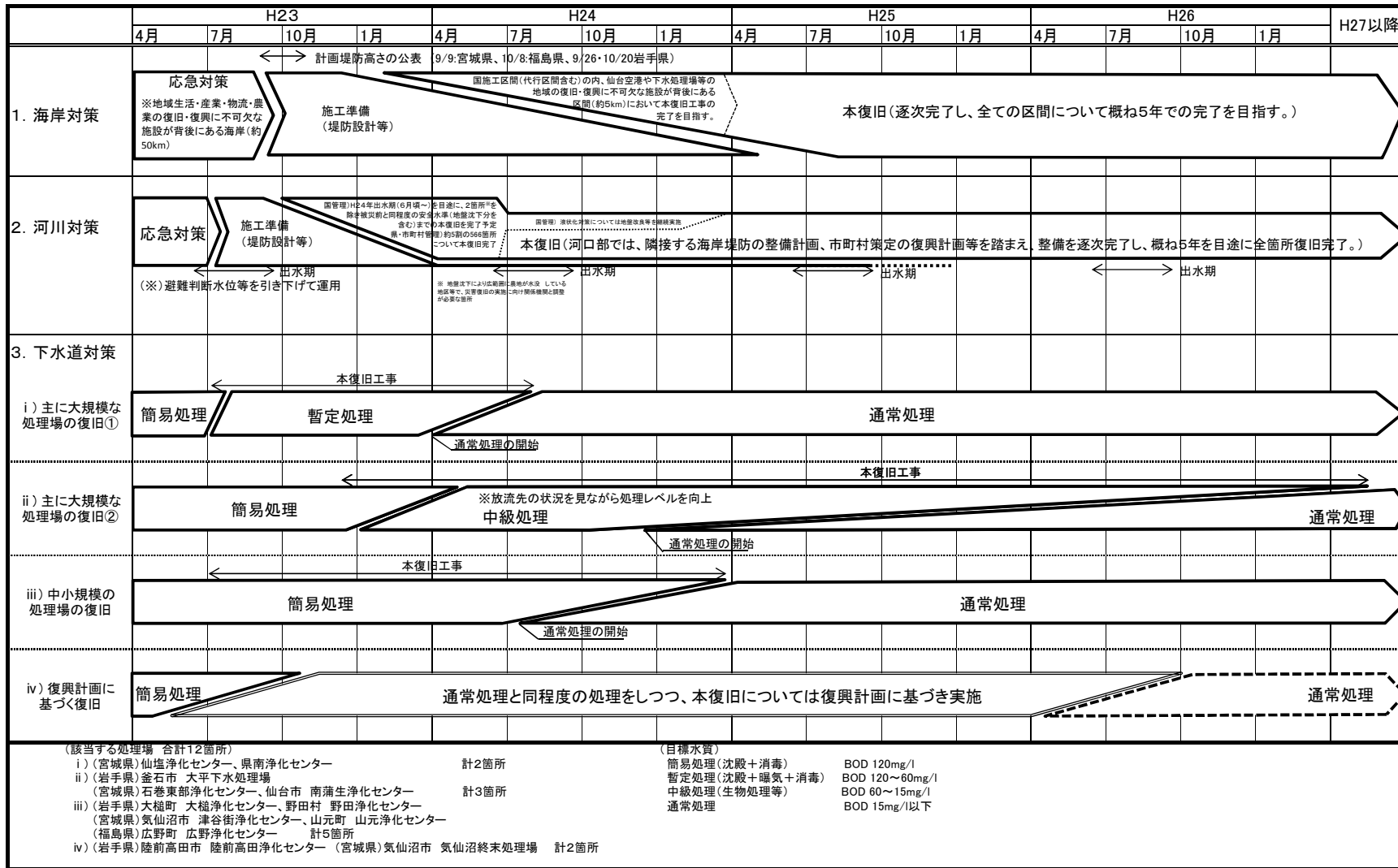
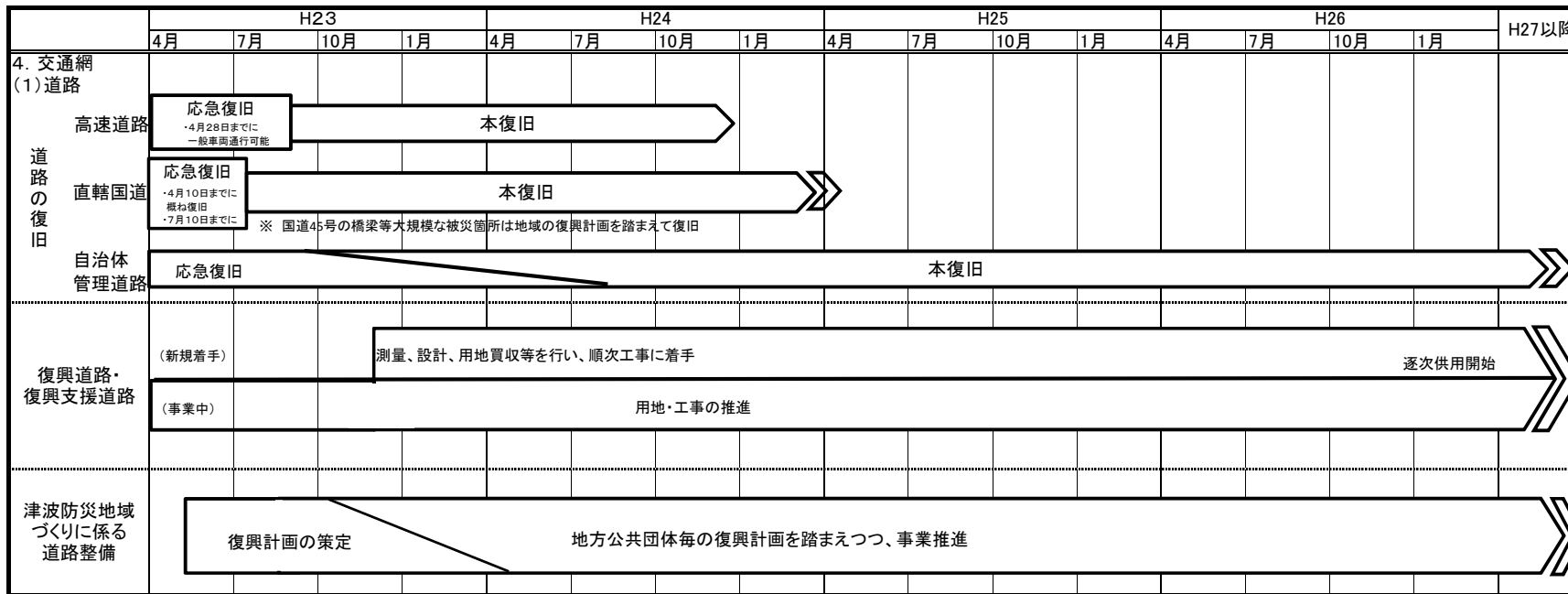


復興施策の工程表(全体版)





	H23				H24				H25				H26				H27以降		
	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月			
(2) 鉄道 I. 旅客鉄道																			
① 現行ルートでの復旧(三陸鉄道)									H25年4月頃 盛～吉浜 運転再開見込み				H26年4月頃 全線運転再開 見込み						
② 現行ルートの変更も含めたまちづくりと一体となった復旧(沿岸部のJR東日本の被災6路線)	まちづくりと一体となった復旧方策の検討								H25年度初 <small>わたのほ</small> JR石巻線 渡波～女川 運転再開を目指す (女川駅を除く)								H27年度内 JR仙石線 全線運 転再開を目指す		
II. 貨物鉄道 (2鉄道事業者)									H24年9月頃 仙台臨海鉄道 全線運転再開 見込み		H24年12月頃 JR貨物石巻港 線全線運転再 開見込み								鉄道工事着手から 3年程度 JR常磐線 相馬～ 亘理
(3) 空港																			
復旧関係	★ 4/13 民航機の就航再開																		
仙	★ 9/25 旅客ターミナル完全復旧、国内線・国際線定期便とも運転再開完了																		
台	★ 10/1 空港アクセス鉄道全線運転再開																		
関	旅客ターミナルビルの本格復旧																		
空	その他のインフラ施設の復旧(排水機能やエプロンの復旧等)について、順次実施																		
係																			
港																			
復興関係	空港の耐震及び津波対策等を実施																		

	H23				H24				H25				H26				H27以降
	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	
(4)港湾																	
八戸港	施工準備 (調査、設計)				八太郎地区コンテナターミナル等基幹的輸送を担う施設、製紙、製鉄、飼料等の産業復興に必要な施設への安全な船舶の入出港や安定的な港湾荷役の確保のために必要な防波堤や航路・泊地から順次本復旧 ☆八太郎地区北防波堤(中央部)については、24年度内の概成を目指す												
久慈港	応急復旧		施工準備 (調査、設計)		造船、水産等の産業復興に必要な施設から順次本復旧												
宮古港	施工準備 (調査、設計)				木材加工、水産等の産業復興に必要な施設から順次本復旧												
釜石港	施工準備 (調査、設計等)		鉄鋼、飼料等の産業復興に必要な施設から順次本復旧 (湾口防波堤)まちづくりや産業活動の支障にならないように計画的に復旧														27年度末完了見込み
大船渡港	施工準備 (調査、設計)		セメント等の産業復興に必要な施設から順次本復旧 (湾口防波堤)まちづくりや産業活動の支障にならないように計画的に復旧														27年度末完了見込み
石巻港	応急復旧		施工準備 (調査・設計)		製紙、飼料、木材加工等の産業復興に必要な施設から順次本復旧												
仙台塩釜港	応急復旧		施工準備 (調査・設計)		高砂国際コンテナターミナル等基幹的輸送を担う施設、完成自動車の輸出等産業復興に必要な施設から順次本復旧 ☆高砂国際コンテナターミナルにおいては、平成24年1月に北米航路を再開												
相馬港	施工準備 (調査、設計)		基幹的輸送を担う内航コンテナ施設から順次本復旧 (沖防波堤)火力発電所への燃料の安定供給等の支障にならないように計画的に復旧														27年度末完了見込み
小名浜港	応急復旧		施工準備 (調査、設計)		火力発電所への燃料の安定供給に必要な施設、化学工業・非鉄金属工業等の産業復興に必要な施設から順次本復旧												
茨城港 日立港区	応急復旧		施工準備 (調査・設計)		基幹的輸送を担う北海道との定期RORO輸送に必要な施設、完成自動車の輸出入等産業復興に必要な施設から順次本復旧												

	H23				H24				H25				H26				H27以降
	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	
茨城港 常陸那珂港区	応急復旧	施工準備 (調査・設計)	北ふ頭コンテナターミナル等 基幹的輸送を担う施設から順次本復旧 ☆コンテナ等が利用する北ふ頭A岸壁は、24年度前半に復旧を図る														
茨城港 大洗港区	応急復旧	施工準備 (調査・設計)	基幹的輸送を担う北海道とのフェリー輸送 に必要な施設から順次本復旧 ☆フェリーが利用する第3ふ頭岸壁は、23年度内に暫定利用開始														
鹿島港	応急復旧	施工準備 (調査・設計)	係留施設の本復旧	※石油化学、鉄鋼、飼料、木材加工等の産業復興 に必要な施設から順次本復旧 鹿島臨海工業地帯に原料を搬入する 大型船舶の水深を確保するために航路・泊地を本復旧													

	H23				H24				H25				H26				H27以降
	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	
8. 復興住宅(災害公営住宅等)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>住宅復興計画の策定 (地方公共団体)</p> <p style="text-align: center;">地方公共団体の復興計画に従い、事業の推進を支援</p> </div>																
9. 復興まちづくり (1) 防災集団移転・区画整理等	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>復興計画の策定</p> <p style="text-align: center;">地方公共団体毎の復興計画を踏まえつつ、事業推進</p> </div>																
(2) 被災した造成宅地について	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>被災宅地危険度判定の実施、応急対策</p> <p style="text-align: center;">被災状況に係る詳細な調査等</p> <p style="text-align: center;">・造成宅地滑動崩落緊急対策事業等の実施により、被災した造成宅地についての対策を推進 ・災害関連緊急傾斜地崩壊対策事業及び災害関連地域防災がけ崩れ対策事業の特例措置による宅地擁壁等の復旧</p> </div>																
10. 土砂災害対策	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>土砂災害危険箇所の点検等</p> <p style="text-align: center;">崩壊が発生した箇所における緊急的な土砂災害対策の実施 ※宮城、福島、茨城、栃木、新潟各県の41箇所</p> <p style="text-align: center;">地盤の緩んだ箇所等における砂防堰堤等の整備 (重要な保全対象を有する24箇所についてはH24年度内を目途に緊急的な対策を完了予定。それ以外については概ね5年を目途に必要な箇所の対策を完了)</p> <p>(※)土砂災害警戒情報の発表基準を引き下げて運用し、降雨と土砂災害発生状況を考慮し、見直しを実施</p> </div>																
11. 地盤沈下・液状化対策 液状化対策 (液状化に関する研究及び技術開発の推進)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>各施設に共通する技術的事項の検討</p> <p style="text-align: center;">液状化に関する研究及び技術開発を推進し、成果を復興施策に順次反映</p> </div>																
(公共施設と隣接宅地等との一体的な液状化対策の推進)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>被害状況把握・液状化対策に関する工法等の検討</p> <p style="text-align: center;">地方公共団体における即地的な調査・検討を踏まえた技術的支援、情報提供</p> <p style="text-align: center;">地方公共団体の対応方針を踏まえ、効果的、効率的な液状化対策を推進</p> </div>																